

機械器具 03 医療用消毒器
管理医療機器 小型未包装品用高圧蒸気滅菌器（JMDN 40547020）
特定保守管理医療機器 オートクレーブ MPS

【警告】

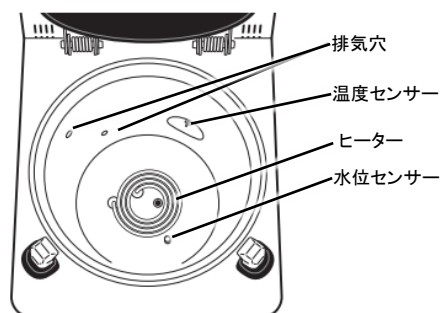
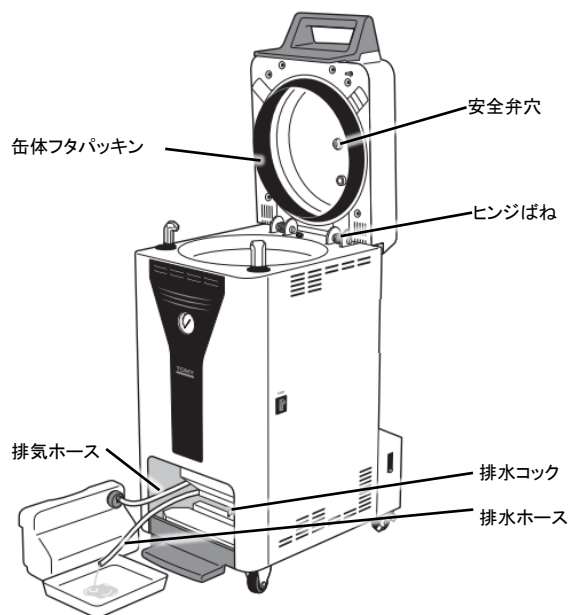
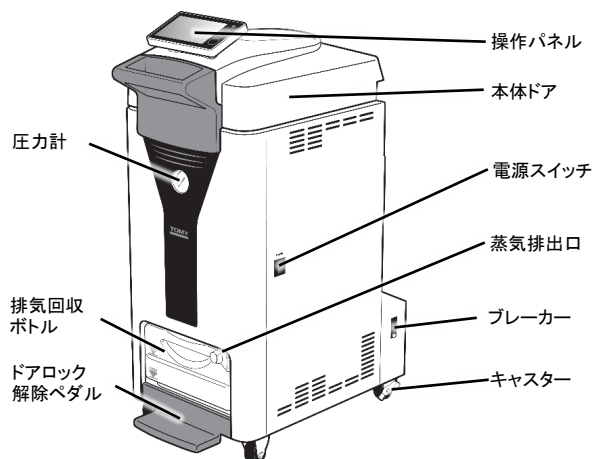
- ・ 本体ドアを開けるときは、缶体内からの蒸気に十分注意すること。[缶体内から立ち上がる蒸気は非常に高温であるため、火傷や負傷の原因になります]
- ・ 運転中に圧力計の指針が赤線部を越えたら直ちに運転を中止すること[部品の損傷、飛散による火傷や重傷事故の恐れがあり危険です。すぐに運転を中止し、販売店又は当社事業所にご連絡ください]
- ・ 高温の液体は突然沸騰することがあるので注意すること。[液体は缶体内の温度よりも冷めるのが遅く、衝撃などをきっかけに突沸することがあります。不用意に取り扱うと火傷や思わぬ事故の原因になります]

【禁忌・禁止】

- ・ 圧力が 0MPa になるまでは、本体ドアを開けないこと。[圧力の残っている時に本体ドアを開けると、被滅菌物や蒸気が吹き出し、死亡や重傷事故の原因になります]
- ・ 排気ホースを折り曲げないこと。[排気がスムーズに行われないと圧力の異常上昇が起き、部品の損傷、飛散による火傷や負傷、重傷事故の原因になります]
- ・ 引火性、爆発性のものをいれて使用しないこと。[火災や爆発の原因になります]
- ・ 密閉されたものを滅菌しないこと。[取り出す際に破裂し、火傷や重傷事故の原因になります。また、缶体内圧力が異常上昇することがあり、部品の損傷、飛散による火傷や重傷事故の原因になります]
- ・ ヒビやキズのあるガラス器具を滅菌しないこと。[取り出す際に破裂し、火傷や重傷事故の原因になります]
- ・ 被滅菌物で缶体内の穴をふさがないこと。[滅菌バッグなど被滅菌物で排気穴がふさがると、缶体内の圧力を制御できなくなり、缶体破裂等の重大事故を引き起こす原因となります。被滅菌物はオプションのカゴ等に確実に収納し、排気穴周辺を覆わないように注意してください]
- ・ 缶体内や滅菌用水が汚れたまま放置しないこと。[放置しておくと、缶体の腐食・損傷の原因になります。また、水位センサー誤動作の要因となり、空焚き防止機能を低下させ、同時に空焚きの際の発火の原因となります]

【形状・構造及び原理等】

《形状・構造》



取扱説明書を必ずご参照下さい。

《動作原理》

運転を始めると、缶体内下部のヒーターで缶体内の滅菌用水を加熱し、蒸気を発生させます。
加熱により発生した蒸気は缶体内の空気を押し出し、缶体内を温めます。缶体内温度センサーが所定温度まで上昇すると、所定時間、温度を維持します。この動作で缶体内の残留空気を排除します。所定時間が経過すると、弁を閉じ、加熱を行いません。
温度センサーが設定温度に達するとタイマーが作動し、温度を一定に保ちます。設定された滅菌時間が経過すると、ヒーターを止めます。この期間で被滅菌物に与えた温度、湿度、時間の三要素によって滅菌作用は決まります。
缶体内の温度が下がると弁を開き、缶体内を大気圧に戻します。温度センサーが 60℃になると、全工程が完了となり、ブザーと表示灯で報知します。
装置に異常が発生すると、より安全な状態に移る動作をするとともに、エラーコードの表示とブザーで報知します。

《サイズバリエーション》

型式	MPS-510	MPS-710
缶体容量	58L	79L
必要な電源	単相 AC100V 50/60Hz 20A	単相 AC200V 50/60Hz 15A

《使用環境》

周囲温度：10～35℃（結露なきこと）
相対湿度：75%RH 以下
気圧：750～1060 hPa（標高 2000m 以下）
傾斜：2 度以内

【使用目的又は効果】

高圧を有する蒸気を容器に導入し湿熱を利用し医療に使用する器具機材等を滅菌すること。

【使用方法等】

《設置方法》

詳細は取扱説明書の「3. 設置について」をご参照ください。

直射日光の当たらない風通しの良い場所を選び、コンクリートの床など丈夫で平らな場所を選んでください。
滑りやすい場所や、振動がある場所は避けてください。
周囲にスペースがあることを確認し、キャスターのロックレバーを ON にして固定する。

《使用方法》

以下の手順の詳細は取扱説明書の「5. 操作方法について」をご参照ください。

- ① 電源スイッチ「入」
- ② 本体ドアの開閉
- ③ 圧力計の確認
- ④ 排気回収ボトルの水量確認
- ⑤ 滅菌用水の確認
- ⑥ 被滅菌物の収納
- ⑦ 運転条件の設定
- ⑧ 運転開始
- ⑨ 運転終了
- ⑩ 被滅菌物の取り出し
- ⑪ 滅菌用水の排水
- ⑫ 電源スイッチ「切」

【使用上の注意】

詳細は取扱説明書の「1. 安全にお使いいただくために」をご参照ください。
・ バイオロジカルインジケーターを用いて、滅菌条件を決定する。
・ 運転中、運転直後は外装に触れない。
・ 運転中は蒸気排出口周辺からの蒸気に注意する。
・ 排水は滅菌用水が十分冷めてから行なう。

【保管方法及び有効期間等】

＜耐用期間＞

製造出荷後 7 年 [自己認証（当社データ）による]

【保守・点検に係る事項】

詳細は取扱説明書の「8. 保守点検について」をご参照ください。

《使用者による保守点検事項》

＜清掃＞

- | | |
|--------------|----|
| ・ 缶体内、水位センサー | 毎週 |
| ・ 缶体フタパッキン | 毎週 |
| ・ 外装 | 毎週 |

＜点検＞

- | | |
|------------|-----------|
| ・ 缶体フタパッキン | 毎週 |
| ・ 圧力容器 | 毎月 |
| ・ 安全弁 | 毎月 |
| ・ 電源プラグ | 毎月 |
| ・ ブレーカー | 毎月 |
| ・ ヒンジばね | 毎年 |
| ・ 定期自主検査 | 一年以内ごとに一回 |

《業者による保守点検事項》

＜点検＞

- | | |
|---------|----|
| ・ 各安全装置 | 毎年 |
| ・ 各交換部品 | 毎年 |

＜交換部品＞

- | | |
|------------------|-----|
| 部品と耐用年数 | |
| ・ 缶体フタパッキン | 4 年 |
| ・ 電池 | 5 年 |
| ・ ヒンジばね | 7 年 |
| ・ 開閉検出 μ SW ユニット | 7 年 |

※耐用年数は保証期間ではなく、正しく使用した場合の平均的な年数となるため、使用環境、使用頻度、使用方法などにより異なります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：トミー工業株式会社

住 所：福島県石川郡浅川町大字箕輪字山敷田 62
電話番号：0247-36-3160

製造業者：トミー工業株式会社

住 所：東京都練馬区田柄 3-14-17
電話番号：03-5987-3350

販売業者の連絡先

取扱説明書を必ずご参照下さい。